

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	しらゆりフレンドリークラブ		
○保護者評価実施期間	2024年 12月 2日		2024年 12月 31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	59名	(回答者数) 30名
○従業者評価実施期間	2024年 12月 2日		2024年 12月 31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	11名	(回答者数) 11名
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 2月 25日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	法人の他拠点の専門的機関との横のつながりやライフステージの変化に応じた縦のつながり、そして保護者や社会資源とつながるななめの関係	<ul style="list-style-type: none"> <li>・法人内の他拠点（児童家庭支援センター、相談支援事業所、障害者支援施設（就労、生活介護など）との連携が強く、ライフステージが変化してもスムーズな移行支援が可能です。</li> <li>・さらに、他の専門機関とのネットワークを活かし、児童発達支援から学齢期、さらには成人期へと切れ目のない支援を提供できます。</li> <li>・また、保護者や支援者同士が相互に支え合う「ななめの関係」（先輩家族や地域の支援者とのつながり）が形成されていることも強みです。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・法人内外のネットワーク強化として、定期的な合同研修やケース会議を実施し、法人内の他拠点や外部専門機関との連携をさらに強化する。</li> <li>・児童発達支援から学齢期、さらに成人期への移行をスムーズにするため、将来の見通しを持って支援を強化する</li> <li>・保護者や地域資源とのつながりを深める仕組みづくり</li> </ul>
2	地域と連携した支援の展開と家族支援の充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の保育所・幼稚園・学校、福祉施設などとの交流機会を確保し、こどもたちが多様な環境で経験を積める仕組みを持っています。</li> <li>・家族支援として、座談会や親子ふれあい教室、イベント各種での交流機会を設け、情報共有や悩みの相談がしやすい環境を整えています。</li> <li>・地域社会の理解促進とともに、家族間のつながりを深めることで、支援の輪を広げています。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域資源との連携強化として、保育所・幼稚園・学校と見学機会を増やし、こどもがより自然な形で地域と関わる機会を拡充する。</li> <li>・座談会や親子ふれあい教室の内容をさらに充実させ、保護者同士や専門家や支援者と直接つながる機会を増やす。</li> <li>・地域社会の理解促進と支援の継続性向上を図り、地域と家族のつながりを一層強化し、こどもたちが安心して成長できる環境づくりを進めてまいります。</li> </ul>
3	5領域に基づく個別支援の充実と柔軟なプログラム提供	<ul style="list-style-type: none"> <li>・健康・生活・運動・感覚・認知・行動、言語・コミュニケーション、人間関係・社会性の5領域に基づいた支援を展開し、こども一人ひとりの発達特性に応じた支援計画を策定しています。</li> <li>・楽しい体験を重視</li> <li>こどもたちが楽しみながら学び、成長を実感できる環境を整えます。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・個別支援計画のさらなる最適化として、保護者や関係機関と連携し、支援計画の振り返りや調整を定期的に行うことで、より柔軟な対応を可能にする。</li> <li>・「楽しい体験」をさらに強化するため、こどもの興味や成長段階に応じた新しいプログラム（を積極的に取り入れる。</li> <li>・最新の療育方法や支援ツールを取り入れ、より効果的な支援ができるようアップデートを継続し、こどもたちがより充実した時間を過ごし、自信をもって成長できる環境を整えてまいります。</li> </ul>

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	ライフステージに応じた支援の継続性・連携の強化	法人内の他拠点や外部機関との連携はあるものの、保護者にとって支援の流れが見えにくいことがある。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各ライフステージごとの支援プログラムをより分かりやすく整理し、保護者向けの説明会や情報提供の場を設ける。</li> <li>・移行後のフォローアップ体制を充実させ、継続的な支援を受けられる仕組みを強化する。</li> </ul>
2	地域連携のさらなる推進と家族支援の拡充	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の保育所・学校・支援機関との交流の機会はあるが、利用者・保護者に十分に周知されていない。</li> <li>・保護者支援の機会（座談会・交流会など）はあるものの、参加しやすい環境が整っていない場合がある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域連携の取り組みを定期的に発信し、保護者への情報提供を強化する。</li> <li>・保護者が参加しやすい形での座談会・交流会を開催し（オンライン開催や個別相談の充実）、家族支援の機会を広げる。</li> <li>・地域の支援機関や学校と連携し、こどもたちが次のステップに出る際のスムーズな移行を支援する仕組みを強化する。</li> </ul>
3	5領域支援の質の向上と柔軟なプログラムの提供	プログラムの柔軟性を確保するための職員研修や支援計画のブラッシュアップが必要。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・こども一人ひとりの発達状況をより細かく評価し、個別支援計画の最適化を定期的に行う。</li> <li>・職員の専門性向上のための研修を強化し、5領域における支援の質を向上させる。</li> </ul>

公表 保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 しらゆりフレンドリークラブ

公表日 2025年 3月 1日

児童発達支援センター

対象人数(保護者) 25人 回答者数 14人 回収 56%

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	12	2				活動スペースの確保について、ご意見を受け止めています。利用者の安全と快適さを考慮し、スペースの有効活用や環境整備を進めてまいります。引き続き、より良い支援環境の提供に努めてまいります
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	13	1				人員配置基準を満たし加配職員の配置に努めておりますが、引き続き安心してご利用いただけるように体制整備に努めてまいります
	3 生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	13	1				子どもが安心して過ごせる環境となるよう、視覚的支援や設備の改善を進め、より分かりやすい環境づくりに努めてまいります
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	13	1				子ども達が心地よく過ごせるよう、清掃や環境整備を徹底し、活動に適した空間づくりをより丁寧に進めてまいります。引き続き改善に努めてまいります
適切 な 支 援 の 提 供	5 子どものことを十分に理解し、子どもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	13	1				子どもの特性に応じた専門性のある支援をさらに充実させてまいります。職員研修の強化や支援方法の見直しを行い、より個別に寄り添った支援を提供できるよう努めてまいります
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	14					
	7 子どものことを十分理解し、子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画(個別支援計画)が作成されていると思いますか。	14					
	8 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	12				2	児童発達支援計画の内容について、保護者の皆様にも分かりやすくお伝えできるよう努めてまいります。支援方針の説明や共有の機会を増やし、ご理解と安心につながるよう取り組んでまいります
	9 児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	14					
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	10	3	1			子どもたちが楽しみながら多様な経験ができるよう、プログラムの見直しや新たな取り組みを検討し、柔軟な支援を提供してまいります
	11 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他の子どもと活動する機会がありますか。	11				3	法人内の保育園や地域へ園外活動等を企画しております。保護者の皆様にも分かりやすくお知らせできるよう努めてまいります。引き続き、交流の機会を大切に、支援を進めてまいります
保 護 者 へ の 説 明 等	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	14					
	13 「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	14					
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	12	1		1		親子ふれあい教室を年5回開催しております。またペアレントトレーニング実施資格を取得している職員配置をしているため、ニーズに応じて実施してまいります。引き続き、ご理解と安心につながるよう取り組んでまいります
	15 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	14					
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	13	1			いつも親身に相談に乗っていただき、ありがとうございます。	いつもありがとうございます。定期的な面談時、親子ふれあい教室や各種イベント、送迎等以外にもいつでも職員にお声がけください
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	14					
	18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	13				1	ご意見を受け止め、座談会や参観、イベント、地域交流をさらに充実させます。交流機会を増やし、保護者やきょうだい同士のつながりを深められるよう、引き続き支援を強化してまいります
	19 子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	13				1	相談や申入れの体制について、保護者の皆様により分かりやすく周知・説明を行い、安心してご利用いただける環境を整えてまいります。引き続き、迅速かつ適切な対応に努めてまいります
	20 子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	14					

	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	14				
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	14				
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	12			2	各種マニュアルの内容や訓練の実施状況について、保護者の皆様により分かりやすく周知・説明を行ってまいります。引き続き、安全管理を徹底し、安心できる環境づくりに努めてまいります またいつでもご返信いただけますので、職員にお声がけください
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	12			2	毎月訓練は実施しておりますが、非常災害時の避難訓練や救出訓練の実施状況について、保護者の皆様により分かりやすく周知してまいります。引き続き、定期的な訓練を徹底し、安全対策の強化に努めてまいります
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	14				
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	13			1	ご意見を受け止め、事故発生時の連絡や状況説明について、保護者の皆様により分かりやすく周知し、迅速かつ適切に対応できるよう努めてまいります。引き続き、安全管理の徹底と情報共有の強化に取り組んでまいります
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	14				子どもは先生やお友達が好きだと言っています。 ありがとうございます。 お子さまが安心を感じることができる環境を引き続き整えてまいります
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	14				
	29	事業所の支援に満足していますか。	14				

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名	しらゆりフレンドリークラブ
------	---------------

公表日 2025年 3月 1日

放課後等デイサービス

対象人数(保護者) 26人 回答者数 11人 回収 42%

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	11					
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	7	4				人員配置基準は満たしておりますが、引き続き安心してご利用いただけるように体制整備に努めてまいります
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	11					
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	11					
適切 な 支 援 の 提 供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	11					
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	11					
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画(個別支援計画)が作成されていると思いますか。	11					
	8	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	11					
	9	放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	11					
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	11					
	11	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	5	5	1			地域の公園やイベントなどに参加、アリスカーテンテラスで地域交流の機会を提供しておりますが、引き続き案内周知をより丁寧に実施してまいります ニーズに沿って対応できるように努めてまいります
保 護 者 へ の 説 明 等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	11					
	13	「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	11					
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	10	1				座談会にご参加いただけるよう内容を精査してまいります またペアレントトレーニング実施資格を取得している職員配置をしているため、ニーズに応じて実施してまいります
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていていると思いますか。	11					
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	11					
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	10		1			ご意見を受け止め、共感的な支援の強化に努めます。職員研修の充実、情報共有の強化、利用者・保護者との対話の機会を増やし、安心できる支援環境を整えます。引き続きご意見を大切にし、改善を進めてまいります
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	9	1	1			ご意見を受け止め、座談会やイベント、地域交流をさらに充実させます。交流機会を増やし、保護者やきょうだい同士のつながりを深められるよう、引き続き支援を強化してまいります
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	11					
	20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	11					
21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	11						

	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	11				
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	11				
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	11				
	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	11				
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	11				
満足度	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	11				
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	10	1			通所がより楽しみになるよう、活動内容や環境づくりを見直してまいります。こども一人ひとりの興味や安心感を大切に、楽しく過ごせる工夫を重ねながら、通所の満足度向上に努めてまいります
	29	事業所の支援に満足していますか。	10	1		出来れば土曜日も開所していただきたいです。	貴重なご意見をありがとうございます。土曜日開所のご要望については、運営体制や職員配置の調整を含め、検討を進めてまいります。より利用しやすい環境づくりに努めてまいりますので、引き続きご意見をお聞かせください

公表

保護者からの事業所評価の集計結果

事業所名 しらゆりフレンドリークラブ

公表日 2025年 3月 1日

保育所等訪問支援

対象人数(保護者) 8人 回答者数 5人 回収 63%

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	1 訪問支援に使用する教具教材が整えられていますか。	3	2			個室等ではないですが、特に気にしてはいません	個別環境化で支援が必要な際は、ご本人、訪問先とも相談をしております
	2 プライバシーに配慮された面接室等が整えられていますか。	3	2				安心して面談が出来る環境設定に努めてまいります
	3 事業の目的が適切に説明されていると思いますか。	5					
	4 保育所等訪問支援の頻度や時間について、相談の上決定されていますか。	5					
適切な支援の提供	5 こどもの状態に応じた支援が提供できる職員(職種や人数)体制だと思えますか。	5					
	6 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	5					
	7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、保育所等訪問支援計画(個別支援計画)が作成されていると思いますか。	5					
	8 保育所等訪問支援計画(個別支援計画)には、訪問先施設や担任等の意向が盛り込まれていると思いますか。	4	1				支援介入時には、訪問先に訪問し、先生とも支援計画の共有と支援内容の設定する場を作っていました。引き続き、より丁寧に説明できるように努めてまいります
	9 保育所等訪問支援計画には、保育所等訪問支援ガイドラインの「保育所等訪問支援の提供すべき具体的な内容」も踏まえながら、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	5					
	10 保育所等訪問支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	4	1				ご意向と訪問先とも協議し、こどものその時に合った支援方法を一緒に考えてまいります
	11 保育所等訪問支援を実施する際、訪問先施設に配慮した支援が行われていると思いますか。	5					
保護者への説明等	12 事業所を利用する際に、運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	5					
	13 「保育所等訪問支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	4	1			この質問は面談時に情報提供をさせていただいているという形で回答してよろしいでしょうか？	支援開始時に、説明をさせていただき、土同意をいただいています。支援計画となります。引き続きより丁寧な説明に努めてまいります
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行なわれていますか。	4	1			いつも親身に相談に乗っていただきありがとうございます。	ペアレントトレーニング実施資格を持っている職員配置をしているため、ニーズに応じて実施してまいります。親子ふれあい教室などにもご参加いただけるように工夫を重ねてまいります
	15 必要なときにこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況、課題について共通理解ができていると思いますか。	4	1				システム連絡ツールの活用や参観、面談日で共通理解できる時間をよりつくってまいります。ご都合にあわせて訪問もさせていただきます
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	4	1				定期的な面談以外にも対応しておりますので、気軽にご相談しやすい環境整備に努めてまいります
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	5					
	18 こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	5					
	19 こどもや保護者との意思疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	5					
	20 事業所は、訪問先施設からの相談等に適切に応じ、必要な助言と支援が行われていると思いますか。	4	1				訪問先との情報共有した内容をより丁寧に伝えていけるように引き続き努めてまいります

	21	保育所等訪問支援を実施した際に、訪問先施設と訪問支援の内容について話し合いが行われていると思いますか。	4	1			訪問先との情報共有した内容をより丁寧にお伝えしていけるように引き続き努めてまいります
	22	保育所等訪問支援を実施した際に、保護者に対して適切に共有がなされていると思いますか。	5				
非常時等の対応	23	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	5				
	24	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	5				
	25	事業所では、緊急時の対応について訪問先施設と連携し、実践できるようにしていると思いますか。	4	1			訪問先との情報共有した内容をより丁寧にお伝えしていけるように引き続き努めてまいります
満足度	26	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	5				いつも先生が来てくださると、安心して笑顔になると聞いています。
	27	子どもは訪問支援を嫌がっていませんか。	5				
	28	事業所の支援に満足していますか。	5				

公表

## 訪問先施設からの事業所評価の集計結果

事業所名

しらゆりフレンドリークラブ

公表日

2025年 3月 1日

対象施設数 3施設 回答施設 3施設 回収 100%

保育所等訪問支援

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	ご意見	ご意見を踏まえた対応
1	訪問支援員からの助言や説明は、具体的でわかりやすく、取り入れやすいものですか。	3			<ul style="list-style-type: none"> <li>療育での姿と園での姿の違いについてともに考えて下さっている。</li> <li>具体的なエピソードを交えながら話をしていただけてとてもわかりやすい。</li> </ul>	一緒に考えるスタンスを大事にしており、できるだけ専門用語を使わないよう留意してまいります
2	訪問支援員の支援に対する知識・技術等に満足していますか。	3			<ul style="list-style-type: none"> <li>こどもたちの困り事が減って心地よく過ごすことができるようにしていただけている。</li> <li>保護者支援も丁寧にして頂いている感じる。</li> <li>対象児以外で特性のある子に対する関わり肩などのアドバイスをくれたりしている。</li> </ul>	引き続き、こども中心に保護者、支援者間とも連携を図ってまいります
3	訪問支援員は質問に対して、適時・適切に回答してくれていますか。	3			<ul style="list-style-type: none"> <li>一緒にこどもの姿を見ながら相談できるので、具体的な支援の方法など適切に回答して頂いている。</li> </ul>	
4	保育所等訪問支援を利用したことで、課題や困りごとが解消または軽減されましたか。	2	1		<ul style="list-style-type: none"> <li>訪問時は対象児のテンションが上がり、行動のコントロールが難しくなる傾向がある。</li> <li>しらゆりさんと保育所での姿が全く違うので、解消とはいかないが、少しずつ軽減されている。</li> </ul>	支援の介入方法を訪問先と相談をしながら、より丁寧におこなってまいります
5	事業所からの支援に満足していますか。	2	1		<ul style="list-style-type: none"> <li>療育での様子を細かく教えていただけるので支援計画を立てる際にとても参考になる。</li> <li>訪問回数を減らした方が良いと感じている。</li> <li>保護者がしらゆりさんに伝えていることなども共有できるので、一緒に考えていける安心感。</li> </ul>	訪問回数については契約者である保護者様とも相談しながら、支援者からもこどもさんにとって良い方法を一緒に考えてまいります
その他のご意見					ご意見を踏まえた対応	
<ul style="list-style-type: none"> <li>いつも丁寧な対応と適切なアドバイスをしていただけるので、ありがたく思っています。</li> <li>療育施設の見学やケース検討会の開催など職員のモチベーションがあがる業務を取り入れてくださったおかげで児童の理解や対応の確認など前向きにとりくむことができました。また、保育所の特性を理解して下さり、一緒に考えていただけたことがうれしかったです。引き続きよろしくお願いたします。</li> </ul>						



公表

事業所における自己評価結果

事業所名		しらゆりフレンドリークラブ		公表日		2025年 3月 1日	
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点		
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○		広いスペースを有効的に活用し、空間の構造化を意識している	より利用者目線でニーズに応じたゾーニング（静かなエリア・活動的なエリア）を設定し、個別対応の環境改善の向上に努める	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	○		人員基準に加え、加配加算を取得している	個別対応時に活動上の職員配置の工夫と安心感確保に努める	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	○		見通し等、環境上の配慮はこどもの安心感を育むことを優先している。 こども館全体の設備として整備されている	建物構造上の柱など、死角にならないように職員配置を考え、対応している	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	○		心地よい環境を提供できるように努めている。法人内保育園や地域の近隣降園など、遊具のある場所等を活用している	共有スペースのため、他拠点の異年齢との交流ができるようにしているが、より安全についても十分な留意が必要	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	○				
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	○		日々のミーティングや適宜会議をして参画できるように設定している。また職員としても面談や人事考課の仕組み化ができています		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		日々保護者とのコミュニケーションの中や自己評価のすり合わせを全職員実施し、業務改善について話し合いを実施	支援以外の会議開催について定期的な頻度が妥当か見極めていく	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		日々の対話やミーティング、定期的雑談タイム、管理職面談等の機会があり、改善につなげている		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		○	第三者としては、運営面において法人内部監査として実施している	中立的な相談支援機能が法人内には設置されているため、外部評価の視点も取り入れていく	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○		研修システムの導入により、職員全員が同じ内容を受講できる仕組みができています。虐待防止等の研修も確保できています		
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	○		令和7年1月1日付でホームページ、SNS内で公表している		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	○				
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。 放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○		チーム支援を活かし、作成会議、保護者へ説明・同意、支援会議という仕組み化		
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。 放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○		システム内で常に確認ができ、会議内で共有、支援について話し合う時間を確保	定期的なミーティング以外にも研修会、ケース検討に時間をあてる工夫を検討	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○		システム内ツールを活用している	アセスメント項目を精査して、支援の質向上につながるよう努めていく	

適切な支援の提供	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○	ガイドライン、支援プログラムに則り、児童発達支援管理責任者を中心に設定している	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○	意思決定としての仕組みがあり組織としてのチームであり確認することを大事にしてる	全員がよりよいに把握できるように連絡の手立ての工夫が必要
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○	話し合いのもとで、工夫やアドバイスを取り入れている	現在実施しているプログラムの見直しやアップデートができるよう、研修や自己研鑽、知恵の出し合いを継続化
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。 こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	○	集団の中の個の確立を意識して対応できるようにしている	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○	話し合いの場のなかで、適切な支援が行えるように整えられている	生産性を高めるため、時間配分を見直し化
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○	気づいた点を共有し、次に向けた支援の方法まで話し合いをしている	時間の捻出と確保
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○	システムの活用とミーティング内で実施	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○		
	放デイ	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせる支援を行っているか。	○	4つの基本活動を組み合わせ、5領域をベースにしてオーダーメイドの支援を基本として、日々検討している	引き続き、こどもが主体的に参画できる活動を考えていく
	放デイ	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	○		
関係	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○	センター長および児童発達支援管理責任者が参画している	
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○	社会資源がどこにあるかを共有しており、法人内外とも体制を整備している	
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚園部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○	保育所等訪問支援事業がスタートし、今までより連携の意識は高まっている 見学の行き来を実施し、相互理解に努めている	
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○		
	放デイ	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	○		

機 関 や 保 護 者 と の 連 携	放デイ	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	○		センター内で共有できている またセンター外とも相互理解に努めている	
	放デイ	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	○			
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	○		研修システムの導入・活用および外部研修、委託事業等の研修に参加している	
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。	○		自立支援協議会、神戸市連絡会等に参加している	
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。				
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	○		法人内保育園、アリスガーデンテラスおよび地域イベントや公園活動を通して交流・活動する機会をつくっている	
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○		送迎時や連絡ツールの活用や参観、面談日で共通理解できる時間をつくっている	
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○		親子ふれあい教室を通して、実施している	ペアレントトレーニング資格を持っている職員を配置しているため、ニーズに応じて実施できる体制は確保できている
保 護 者 へ の 説 明 等	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○		見学や相談受付時から契約時に説明をしている	
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。 放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○			
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。 「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	○			
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○		定期的な面談や参観、親子イベント、親子ふれあい教室等を通して実施	
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	○		おやこふれあい教室、座談会、イベント、地域交流の企画を実施。 座談会の機会の提供やアリスガーデンテラスでの交流機会も確保	参加しやすい日時などご意見も確認する
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。 こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○		契約時に説明として周知 電話窓口、担当の設置をして対応できるようにしている	
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	○		イラストや写真も掲載し、活動内容を伝えている	
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○			
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○		契約時に相談を受けている	
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	○		地域イベントやアリスガーデンテラス内で交流の場を企画、発信をしている	

非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○	策定し、共通の認識をもって対応できている 開示受付により閲覧できるようにしている	閲覧できるようにしている 事業所保管（開示）
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○	法人内とも連携し、定期的に訓練を行っている	
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	○		
	48	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	○	契約時に確認をしている 保護者からのご意向により適宜対応している、また必要時において主治医からの意見を伺っている	
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○	安全計画を作成し、毎月報告書をもとに職員間で共有している	
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○	おたよりやシステム内で周知している	